

アフリカ豚コレラが北朝鮮で発生しました。

5月23日、北朝鮮北部慈江道の豚飼養農場1戸でアフリカ豚コレラの発生が確認され、OIE（国際獣疫事務局）より発表がありました。飼育されている豚99頭のうち、77頭がへい死、22頭については殺処分を実施、北朝鮮は移動の制限、封鎖地域と保護地域の予察、死体・副産物・廃棄物処理、処分、消毒などの防疫措置を講じました。

北朝鮮での発生は、今回が初めてであり、今後朝鮮半島での広がりが危惧されます。一方、日本では、本年1月、中国の旅行者が持ち込んだ肉製品からアフリカ豚コレラウイルスが分離される等、我が国の水際まで到達していたことが証明されました。国では違法な畜産物の持ち込みへの対応を厳格にするなど、水際対策を強化していますので、各農場においても、飼養衛生管理基準を遵守するための点検と改善、異常豚が確認された際の通報の徹底が重要です。

アジアにおけるアフリカ豚コレラの発生状況



計(中国)	171か所(151農場、5施設、12村、2車両)(野生いのしし1か所)(22省、5自治区、4直轄市)
(ベトナム)	2421か所(2420村、1施設)(52省、5直轄市)
(モンゴル)	11か所(11農場)(6県)
(カンボジア)	7か所(1農場、6村)(1州)
(香港)	2か所(2施設)※同一のと畜場における発生
(北朝鮮)	1か所(1村)
(ラオス)	7か所(7村)(1県)

※ 中国当局、OIE報告等の情報を元に作成
発生日: OIE報告による発生が確認された日
飼養頭数: FAO統計(2017)による

2019年6月26日現在

暑熱対策を始めましょう。

暑い時期の家畜の生産性低下を防止する方法として、暑熱対策があります。この暑熱対策は、家畜の適正な飼養管理や健康の維持により、安全な畜産物の生産と生産性の向上を目的とした、アニマルウェルフェアの飼養管理指針の一つとなる項目です。

本格的な暑さを迎える前に、できるところから取り組みや準備を始めましょう。

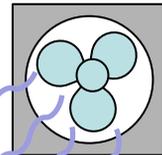
○畜舎外の対策

- ・遮光ネットやよしずの設置
- ・断熱材の設置
- ・屋根などへの遮熱材（石灰乳等）の塗布による輻射熱抑制



屋根への石灰の吹きつけ

農林水産省
ホームページより



ネットに植物を這わせる

○飼養管理面の対策

- ・密飼い防止
- ・敷料交換の期間短縮
- ・良質な粗飼料と清潔な水の給与及びミネラルの補給（重曹の添加など）

○畜舎内の対策

- ・換気扇や送風機での送風
- ・畜体への散水

令和元年度家畜保健衛生推進会議を開催しました。

5月24日（金）、熊本市国際交流会館において、管内の関係機関との協力体制の確立や円滑な業務推進を図るため、令和元年度家畜保健衛生推進会議を開催しました。

会議では、家畜保健衛生所の各種事業概要についてや、中部圏での豚コレラの発生状況及び管内で発生時の関係機関の役割等を説明するとともに、関係機関の連携強化を図りました。



近隣諸国における悪性家畜伝染病発生情報

病名	発生地(国)	畜種	発生日月日
アフリカ豚コレラ	ラオス(7件)	豚	令和元年(2019年)6月2日 ～令和元年(2019年)6月8日
	中国(4件)	豚	令和元年(2019年)5月27日 ～令和元年(2019年)6月18日

令和元年(2019年)7月1日現在

毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

